

学校給食から生まれた肥料

土の給食

the meal for the soil

「土の給食」とは

「土の給食」は、オーガニックなまちづくりを目指す千葉県木更津市の鎌足小中学校で行われた、「学校給食廃棄物3R促進事業」の取り組みの一環としてつくられました。子どもたちが残した給食や調理過程で出る生ごみは、専用の設備で発酵させることで、肥料に生まれ変わります。できあがった肥料は、良い土を作るための栄養を含んでいる、まさに“土の給食”です。子どもたちの栄養が、土の栄養に生まれ変わり、野菜を育てて再びみんなの元へ。「土の給食」は、木更津市にオーガニックな循環を与えてくれます。

「オーガニックなまちづくり」とは

今日、地球規模の気候変動や資源の枯渇、食糧危機など、人類の持続可能性が危ぶまれ、また我が国においては、少子高齢化に伴う人口構造の変容など、地域社会の持続可能性が危ぶまれています。こうした時代背景の中で、木更津市は、持続可能な未来をつくるため、地域、社会、環境などに配慮し、地域社会を構成する多様な主体が一体となって、人と自然が調和したオーガニックなまちを次世代に継承することを目指しています。

学校給食 3R活動と 食育授業の様子

本事業を通じて、学校給食における地元野菜の使用率が向上し、子ども達の食に対する意識・行動が改善されました。



鎌足小の給食風景



農場体験授業風景



生ごみを肥料に変える
バイオガスプラント



プロジェクトメンバーの
皆さん

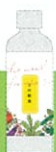
土の給食の 使い方

- よく振ってご使用ください。
- 水で30~40倍に薄めてお使いください。例えば、1ℓの水に対しては「土の給食」を4分の1程度添加してください。
- 施肥の際は、葉に肥料がかからぬよう注意し、株元に施肥してください。
- 希釈した液はなるべくその日のうちに 使い切ってください。
- 原液のまま播種の前に土とよく混ぜれば、土壌改良剤としてもご利用できます。その場合は、土1kgに対して「土の給食」1本をご使用ください。混合の際は手袋を装着してください。

使用比率は

土の給食

1



: 水

30-40



ミニトマト、きゅうり、
なす、ピーマンなど、
家庭菜園に人気の野菜や、
観賞用の草花などの栽培に
ご使用ください。

木更津市から 食品リサイクルの 輪を広げよう!

環境省によると、日本では年間621万トンの食品ロスが発生しています。これは、世界全体の食品援助量の約2倍相当であり、国民一人あたりが毎日茶碗一杯分捨てている量に匹敵します。鎌足小中学校の取り組みは、こうした食品ロスの削減に貢献することができます。木更津市から食品リサイクルの素晴らしさを楽しく発信していきましょう!



「土の給食」で育てた
野菜や花を写真に撮ってハッシュタグ
「#土の給食」をつけて
インスタグラムに投稿しましょう!

Presented by 千葉県木更津市
Supported by きさらづアグリフーズ推進協議会
バイオエナジー株式会社
一般財団法人日本土壤協会
レコテック株式会社